

前田由美子さんらの箏の四重奏楽しむ

関東同窓会新年会に 88 人参加

関東同窓会の新年会が1月23日夜、千代田区一ツ橋の日本教育会館で開催された。会場には44-5期から103期までの世代を超えた同窓生88人が集まり、グラスを片手に「新春の夕べ」を楽しんだ。

今年のアトラクションは生田流大師範の前田由美子さん（57期）と東京芸大卒の若手女性箏曲家3人による箏の四重奏。水島良子副会長のメンバー紹介に続いて、和服姿の4人が舞台上に現れ、息の合った演奏が始まった。

正月の定番曲「春の海」などの演奏を予想していた参加者は、曲のメロディーを聞き、ちょっと驚いたかもしれない。いわゆる箏曲ナンバーは宮城道雄編曲の「北海民謡調」だけ。他にクラシック1曲（ビバルディの「四季」のうちの「春」）が演奏されたが、後半の曲はポピュラーのオンパレードだった。

ビートルズの「イエスタデイ」、「冬のソナタ」と「ゴッドファーザー」のテーマ曲、「コンドルは飛んでいく」「オリーブの首飾り」。箏が奏でるポピュラーの調べは、何とも言えぬ不思議な味わいがあり、新鮮だった。続いて「川の流れのように」「真夜中のギター」の歌を箏の伴奏で参加者全員が斉唱。最後にラテンの名曲「エル・クンバンチェロ」の演奏が終わると、会場に大きな拍手が鳴り響いた。

この後、隣のホールで懇親会を開催。滝澤進会長のあいさつ、丸山瑛一相談役の音頭による乾杯の後、ビールやワインを飲みながら楽しく歓談する光景が会場に広がった。途中、今年6月の総会の実行委員期（67期、72期）の参加者がステージに上がり、総会の成功に向けて力強く決意表明。最後は白井透前会長の「一本締め」で宴の幕を閉じた。

関東同窓会編集長 真山隆夫



前田由美子さん（左から2人目）らによる箏の四重奏



演奏する前田由美子さん



演奏に聴き入る参加者



総会成功に向け決意表明する67期の代表